消化管内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、労の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>研究課題名</th>
<th>薬剤耐性 Helicobacter pylori の全国サーベイランス</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>研究機関名</td>
<td>愛知医科大学病院</td>
</tr>
<tr>
<td>研究機関の長</td>
<td>病院長 羽生田 正行</td>
</tr>
<tr>
<td>担当科等</td>
<td>消化管内科</td>
</tr>
<tr>
<td>研究責任者</td>
<td>教授（特任） 佐々木誠人</td>
</tr>
<tr>
<td>試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名</td>
<td>大分大学医学部附属病院消化器内科学講座 村上 和成</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>弘前大学消化器血液内科、筑波記念病院消化器内科、国立国際医療研究センター国府台病院消化器肝臓内科、国立医療福祉大学病院消化器内科、順天堂大学医学部小児科・思春期科学教室、青山内科クリニック胃大腸内視鏡IBDセンター、京都鞍馬中村内科学講座消化器内科</td>
</tr>
<tr>
<td>研究の意義・目的</td>
<td>除菌治療が不成功となる主因は、ビロリ菌の薬剤耐性です。ビロリ菌は胃潰瘍・十二指腸潰瘍の原因にとどまらず、胃癌、MALT 細胞肉腫、特発性血小板減少性紫斑病や慢性薬疹などの原因も指摘されており、それに伴い、現在ではビロリ菌感染症全例に除菌治療が検討されます。ビロリ菌の適正な治療を行うにあたり、薬剤耐性菌に対する状況は把握しておく必要があり、今回耐性菌サーベイランスを行い、各抗生剤を中心とした薬剤耐性率の成績を集計することを目的としています。</td>
</tr>
<tr>
<td>対象となる患者さん</td>
<td>2013年4月から2020年3月までに胃生検組織培養検査にて「ヘリコバクター・ビロリ感感染症」と診断された患者さん</td>
</tr>
<tr>
<td>研究の方法</td>
<td>匿名化した状態（個人が特定できない状態）でヘリコバクター・ビロリ菌の薬剤感受性試験結果等を大分大学医学部附属病院消化器内科学講座において集計し、薬剤耐性率等を算出します。なお、本研究の対象患者さんは研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧が可能です。ご希望の際は、消化管内科担当医師もしくは下記の問い合わせ先までお申し出ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>研究期間</td>
<td>倫理審査承認日 ～ 2020年3月31日</td>
</tr>
<tr>
<td>研究に用いる試料・情報</td>
<td>情報：性、年齢、病名、ヘリコバクター・ビロリ菌の検査・治療内容等</td>
</tr>
<tr>
<td>外部への試料・情報の提供</td>
<td>大分大学医学部附属病院消化器内科学講座</td>
</tr>
<tr>
<td>試料・情報の利用又は提供を希望しない場合</td>
<td>本研究への情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。</td>
</tr>
<tr>
<td>関問い合わせ先</td>
<td>愛知医科大学</td>
</tr>
<tr>
<td>医学部内科学講座 消化管内科</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>担当者：教授（特任） 佐々木誠人</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>電話 0561-62-3311（内線23480）</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>